



# いづわ清隆 だより 第63号

平成30年1月 発行責任者：五輪 清隆 編集責任者：福田 剛 長崎市水の浦1の1 TEL861-6032



昨年11月25日に完成した「出島表門橋」にて

ご家族お揃いで健やかな、お正月を迎えられたこととお慶び申し上げます。旧年中は、皆さま方には絶大なるご支援・ご協力を賜り改めて感謝申し上げます。

## 昨年を振り返って

昨年は2月議会で会派代表質問(90分)・11月議会では個人質問(60分)を行いました。質問項目は長崎市の現状の重要課題を中心に質疑しましたが、行政側との認識の違いもありましたが、本会議・常任委員会にて意見を積極的に述べさせて頂きました。

長崎市においては、11月議会において住民投票条例(長崎市の小島養生所等遺跡の完全保存)が市長へ提出され、議会で審査の結果否決となりました。

## 喫緊の諸課題の解決に努めます

私は長崎市の喫緊の課題は人口減少対策と財源確保であると認識しています。人口減少は他の都市でも同じような傾向であります。本市は特に人口減少率が顕著であることから具体的な歯止め策を講じなければなりません。

長崎市も「地方人口ビジョン」と「地方版総合

戦略」を策定されましたが、ビジョン・戦略が真に人口減少に歯止めをかけるための政策が効果として出るかが急務となっております。今年には交流拠点施設の具体案が提示されますが、建設費用が約147億円の大型事業であることから市民の方々がどこまで理解できるのか充分なる説明を行うと共に、将来の負の施設とならないかも含めて検証しなければなりません。本市の財源は他都市よりも厳しい状況であることから、徹底した支出の削減策と新たな財源確保に向けて取り組みなければなりません。

## 今年も「指導・ご支援を」お願い致します

今日まで、皆さま方のご支援・ご協力により長崎市議会議員として活動することが出来ましたことに對しまして改めて感謝いたします。

私は市民の皆さんが「長崎に住んでいて良かった」と実感できるような「安全で安心して・生活できる環境づくり」に向けて更に努める決意であります。

今年大変お世話になります。旧に倍するご指導・ご鞭撻を賜りますようお願い致します。

結びに、皆さまのご多幸を祈念いたします。新年の挨拶とさせていただきます。

長崎市議会議員 五輪 清隆

# 総額約24億6,000万円の補正予算 39の議案を可決!

平成29年11月議会

長崎市議会・平成29年11月定例会は、11月27日(月)に開会し、12月14日(木)に閉会しました。一般会計補正予算は、約24億6千万を同意し、39議案を可決しました。

しかしながら、組織改正では「メリットの具体的事例や必要性を理解できない」「これまでの組織改正による成果と効果の検証が行われていない」との理由で否決となりました。又、住民投票条例「長崎市の小島養生所等遺跡の完全保存」については、本会議にて賛成7名・反対31名で否決となりました。一般質問では14名が登壇し、私も11月30日(木)に登壇しました。(質疑内容は2・3ページ)主な内容について掲載しています。

### 補正予算の主な内容

- ◆ふるさと納税推進費
  - がんばらば長崎市応援寄附推進費
    - ：1億5,892万8千円
  - ふるさと納税制度により実施している「がんばらば長崎市応援寄附金」の受入額の増が見込まれるため、謝礼品等に係る経費を増額するもの。
    - ・寄附金の見込額6億円↓8億5千万円(2億5千万円の増)
    - ・謝礼品、委託料等の増
      - 1億5,892万8千円
  - ◆当初予算額
    - 4億118万9千円
- ◆文化施設整備事業費(遠藤周作文学館)：200万円
  - 遠藤周作文学館の軽喫茶スペースを再整備するため、内
    - ◆平和マラソン実施検討費
      - ：370万4千円
      - 被爆75周年(平成32年)の



遠藤周作文学館(外海町)

- ◆高齡者施設福祉費
  - 高齡者施設開設準備費補助金
    - ：558万9千円
  - 高齡者施設開設準備費の一部助成について、小規模多機能型居宅介護事業所分を増額するもの。
  - ・対象施設 1施設(愛宕4丁目)
  - ・開設時期 平成30年10月予定
  - ◆当初予算額
    - 1,800万9千円
- ◆子育て支援推進費
  - 子ども医療対策費
    - ：2,197万8千円
  - 子ども医療対策費において、受給者数の増などから当初の予定を上回るものについて増額するもの。
  - ◆当初予算額
    - 8億570万円
- ◆有害鳥獣対策相談等委託
  - ：8,051万4千円
  - 有害鳥獣に係る相談等の民間委託に係るもの。
  - ◆設定期間
    - 平成30年～平成32年度

- ◆企業立地奨励補助
  - ：4,096万5千円
  - 誘致した企業が新たに行う施設整備及び雇用に対する奨励金に係るもの。
  - ◆設定期間
    - 平成30年～平成32年度
- ◆ひとり親家庭福祉推進費
  - ひとり親家庭・寡婦医療対策費
    - ：957万5千円
  - ひとり親家庭・寡婦医療対策費において、入院に係る医療費の増などから当初の予定を上回るものについて増額するもの。
  - ◆当初予算額
    - 1億9,364万4千円
- ◆小学校整備検討費
  - PF1導入可能性調査費
    - ：540万円
  - 校舎の老朽化が進んでいる小島小学校について、改築事業に係るPF1手法等の導入可能性調査を行うもの。

ご相談はお気軽に!



長崎市の都1丁目1444-13  
自 宅 8(844)9599  
生活相談室 8(861)1985



# 11月30日 一般質問を行う!

1. 市長の政治姿勢について
2. 長崎みなとメディカルセンターについて
3. 介護保険制度の現状と課題について
4. 衆議院選挙の期日前投票について



「新たな文化施設」が検討されている現市庁舎

## 主な質疑内容

### 1. 市長の政治姿勢について

#### ① 交流拠点施設

**質問** 市長より11月27日の行政報告で、交流拠点施設の優先交渉者の運営企業で事業提案の公募は1グループだったと報告がありました。募集要項の「提案のとりやめ等」の項目では「市が公正に執行できないと認める場合」あるいは「競争性が担保されないと認められる場合」に市は選定の執行を延期若しくは取りやめることがあると明記されているが、公募が1企業だけで競争性が担保されているか。



施設全体鳥瞰図(イメージ)

※ホテルはヒルトン含む国際ブランドホテルのオペレーターと具体的な交渉を行っている。

#### ② 定住人口減少の具体的な取り組み

**質問** 長崎市の人口は平成27年では約42万9千人で25年後には33万1千人となり約10万人が減少すると推計されています。現在「まち・ひと・しごと」創生長期人口ビジョンの人口の将来展望として、平成72年の人口32万人を目指していますが、短期的な取り組みについて伺います。

**答弁** ① 地場産業の競争力の向上と育成や地域経済の新たな力となる創業支援・企業誘致に取り組むとともに、地場企業の魅力などを発信することにより若者の地元定着を図る。② 子どもの医療費助成の対象拡大や長崎市独自で多子世帯における保育所・幼稚園等の保育料を軽減するなど、子育て環境の充実や結婚につながる出会いの場を創出します。

**質問** 参加表明書の受付締め切り6月16日の時点で公募が1企業と分かった時点で再公募とか締め切りの延長とか考えなかったのか。

**答弁** 応募グループが1者だったという理由で、市が参加表明の受付期限の延長や再公募を行うことは受付期限内に参加表明を行った応募グループに対して公正性を失い、不利益を与えることになるので参加表明の受付期限の延長や再公募は行っていません。本公募の手続きは、適正に実施し価格面のみではなく、提案内容を重視した総合的な評価を行うことで、事業の安定性を確保しています。

継続性が高く、地域への効果が期待できる優れた提案を行った優先交渉権者を選定できたと考えています。

**質問** 長崎市の人口は平成27年では約42万9千人で25年後には33万1千人となり約10万人が減少すると推計されています。現在「まち・ひと・しごと」創生長期人口ビジョンの人口の将来展望として、平成72年の人口32万人を目指していますが、短期的な取り組みについて伺います。

**答弁** ① 地場産業の競争力の向上と育成や地域経済の新たな力となる創業支援・企業誘致に取り組むとともに、地場企業の魅力などを発信することにより若者の地元定着を図る。② 子どもの医療費助成の対象拡大や長崎市独自で多子世帯における保育所・幼稚園等の保育料を軽減するなど、子育て環境の充実や結婚につながる出会いの場を創出します。

**質問** 長崎市の平成28年度の決算で歳入は2085億円に

対して、市税収入など763億円で歳入全体の37%であります。人口規模が同じような中核市で48市中48位、平均51%に対して37%で、歳出の義務的経費は60%で、48市中45位と財政は厳しい状況であるが新たな財源確保と歳出削減策の具体策について伺います。

**答弁** 平成29年度の当初予算は、普通財産の売却や貸付による財産運営、収納率の向上、ふるさと納税の取り組みなどにより約7億円の自主財源の増加を見込んでおります。支出削減で約4・5億円の一般財源を捻出しました。

平成30年度以降の予算編成は、新たな手法の活用やスクラップアンドビルドなどの事業見直しに積極的に取り組み、これまでに地方創生に係る施策にしっかりと取り組み、人口減少の克服や地域経済の活性化を図ることで市税収入の増加など自主財源の確保に努めます。

**質問** 今年2月に長崎市公会堂の廃止に伴う、新たな文化施設を現市庁舎跡地での整備を進め、平成29年度からは文化団体を初めとした舞台を利用する

標としており、その進捗を見ながら詳細なスケジュールを検討します。

### 2. 長崎みなとメディカルセンターについて

**① 課題と解消策**  
**質問** 新病院は平成24年度に地方独立行政法人に移行し、救命救急センターを備えた高能病院を目指しているが、今年2月時点ではER型の救急救命センターが設置されていないが、その後の救命救急医の確保の目途はどのようになっているのか。

**又、小児・周産期医療についても、新病院の目指すべき医療として充実に努めるとあるが、その後の医師の配置を含めた体制について伺います。**

**答弁** 今年9月に1名の救急専門医を採用することができ、救命救急センター設置に向けて、2名以上の救急専門医の確保と専門医以外の医師等をはじめとした、救急科の体制の整備が必要と考えています。遅くとも平成30年度までに、さらに1名の救急専門医の確保を最優先に努めER型の救命救急センターが早急に整備できるように努めます。

### ② 病院機構の経営状況

**質問** 地方独立行政法人長崎市立病院機構は、今年2月時点で平成24年度から27年度の4年間で累積赤字が約24億3900万円、平成28年度は約3億9000万円の赤字が見込まれていたが、平成28年度の収支および平成29年度の収支の見込みについて伺います。

**答弁** 平成28年度の収支は、昨年11月から病床稼働率の上昇などにより収支改善が見られ、最終的には約1億7100万円の赤字となっています。平成29年度の収支の見込みは、4月から9月までの上半期



長崎みなとメディカルセンター

### 3. 介護保険制度の現状と課題について

**質問** 介護保険制度は2000年に始まったが、社会保障の効率化のため介護事業者が介護サービスを提供した時に受け取る報酬は2015年に大幅に引き下げられ、事業者は厳しい経営を余儀なくされています。又、2015年に新たな入所資格が原則要介護3以上に厳格化されましたが、介護職員がいないために、利用者を受け入れられない特別養護老人ホームがあると調査結果も報告されているが、長崎市内の特別養護老人ホームの状況と市独自の職員の処遇改善は出来ないのか伺います。

**答弁** 平成29年8月現在、特別養護老人ホームの利用者は97・2%でほぼ満床で稼働していません。人材不足により入所できない状況ではありません。介護職員の処遇改善は、介護職員の給与水準が多職種より率

い事から国は平成24年度以降に月額1人あたり3万7千円相当の加算の行い処遇改善を図ってきています。処遇面では国が介護報酬により改善を進めており、改定にあたっては適切な人材の確保や介護従事者の処遇改善などにつながるよう国へ要望します。

### 4. 衆議院選挙の期日前投票について

**質問** 第48回衆議院選挙の期日前投票者は前回・前々回の衆議院選挙と比較すると約2万人位増加しているが、投票に行かれた方から1時間以上も待たされた等の意見も聞くが今後の対応について伺います。

**答弁** 投票日当日に向けた台風接近の予報により、当日投票を回避した有権者が期日前投票に集中したことも一因として考えられるが、選挙終盤にかけて投票待ちの長い列ができ、投票するまでに相当な時間をおかけすることとなり、有権者の方へ大変ご不便をおかけしました。

今後の対策として選挙人名簿照合や投票用紙交付窓口を増設し、スムーズな投票手続きにつなげたいと考えています。

皆さんに新たな文化施設の機能・整備に向けた具体的な検討作業を行うとあったが、その後の文化団体との検討状況と建設スケジュールについて伺います。

**答弁** 今年7月から文化施設の機能面についてヒアリング調査を、最終的には40の団体などにヒアリングを行い、今年度中に報告を取りまとめる予定していますが、現時点では14団体とヒアリングを行っています。

建設スケジュールは、新市庁舎建設の進捗に合わせて検討を進めていく必要があり、新市庁舎は平成34年度中の完成を目